

2019 年度 認定留学 留学報告書

国際交流学科 3 年

留学先：アメリカ ブリッジポート大学附属語学学校及びブリッジポート大学

留学期間：2019 年 8 月～2020 年 5 月

留学中、特に現地の多くの人々と関わる為に、多くのイベントや行事への参加、課外活動などに意欲的に取り組みました。私は、秋学期は英語のみを大学で勉強し、春学期は大学の学部の授業を受けるという流れで留学しました。秋学期は英語のみを勉強していたので、授業などで現地のネイティブの学生と関わる機会がなく、自分から進んで現地の学生と交流する必要がありました。

留学前半は留学先大学とのトラブルも多く、納得のいく留学生活ではありませんでしたが、どうにか留学を充実させて、成長に繋がりたいと思い、知り合いに誘われたイベントや thanksgiving などホームステイ出来る行事などには出来るだけ参加し、k-pop ダンスクラブや現地の先生におすすめされたストックマーケットゲームをするグループにも参加しました。タフなスケジュールではありませんでしたが、様々な人と交流する事で英語力も鍛えられ、知り合いの増すことができ、充実した留学生活と成長に繋げる事が出来ると思いました。最初は現地大学とのトラブルなどが重なった為、現地の方と交流するのに少し自信がありませんでしたが、様々な現地の方と交流する中で、知り合いや友達が増え、失いかけた自信も英語力も上げる事が出来ました。

さらに、もっと様々な人々と交流したいと思い、冬休みは2年前にフェリス女学院大学のアメリカ現地実習プログラムの際にお世話になったホストファミリーに会いに一人で電車を使って約6時間かけてフィラデルフィアに向かいました。そのホストファミリーと1週間過ごした後の残り的一か月はフィラデルフィアの語学学校に通いながら別のホストファミリーと過ごしました。とてもハードな冬休みでしたが、人に恵まれ、アメリカのクリスマスパーティーやお正月を現地の人々と過ごし、出会った沢山の方々と英語で色々な事について話す経験が出来ましたし、その冬休みで英語力がぐんと上がりました。

冬休みを経て、大学に戻った後も再会した友達や知り合いの方ともより一層スムーズに深い会話ができて、新しい友達も作ることが出来ました。留学前半から冬休みにかけて沢山の現地の人々と関わろうと取り組んできた事で、沢山の私を支えてくれる友達や知り合いができ、英語力も上がりました。春学期はこの取り組みがあったから、授業が大変な時に友達と励まし合ったり、教え合うなど助け合い、留学前半には考えられなかったとても充実した留学生活を送る事が出来ました。また、上がった英語力と英語での表現力から授業では GPA3.75 の好成绩を収めることが出来ました。

留学での自分なりのこの取り組みを通して、与えられるものだけでなく、自ら成長しようと行動する大切さや自分の行動次第で結果が変わってくる事を身をもって学ぶ事が出来ま

した。